

第2学年2組 保健体育（体育分野）学習指導案

1 単元 「水泳」

2 本時 期日 平成30年7月19日（木） 3時限目 於：プール

(1) 主眼（ねらい）

- ・着衣して泳ぐことの難しさを体感し、事故に巻き込まれた際の対応について知ろう。

(2) 本時の指導観

- ・生徒はこれまで50mを速く泳ぐこと、長い距離を泳ぐことを学習している。これから夏休みに入り、川や海などに出かける可能性も十分に考えられる。例年、水の事故で命を落とすという事故が起きており、自分が万が一の状況になった時の行動を理解させたい。そのために、着衣したまま泳ぎ、泳ぐことの難しさを体感した上で、浮くことの重要性を理解させ、技術を身につけさせたい。また、安全面に十分配慮し、ペアやグループで安全確認を行い、事故や怪我がないように行う。

(3) 準備 ストップウォッチ ビート板

	学習活動・内容	具体的な手立て	評価の観点（方法）	形態	配時
つかむ 考えをつかむ ・ 深める まとめ	1 準備体操・補強運動を行う。	○怪我防止のために体操を行う。		一斉	5
	2 本時のめあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">めあて：着衣泳の難しさを体感し、もしもの場合の対応について知ろう。</div>	○水難事故を知り、だれにでも起こりうることを説明する。 ○水難時にやってはいけないことを理解する。 (泳がない。服を脱がない。海水を飲まない。助けない)		一斉	5
	3 ウォーミングアップ ○バタ足 ○ボビング×10回 ○け伸び×2本	○見学者にプールサイドから見てもらい、安全を確保する		一斉	5
	4 泳ぐことの難しさを体感する。 ○50mウォーキング ○25m×2本（クロール、自由）	○苦手な生徒には、ビート板を使わせながら行う。	○学習に意欲的に取り組んでいるかを観察する。 (関・意・態)	一斉	10
	5 浮く技術を身につける ○背浮き 1分×2回 ○ラッコ浮き（ビート板）1分×2回 ○いろいろな道具を使って浮く	○写真を見せて、やり方を説明する。 ○体を一直線にさせ、足が沈まないように指導する。 ○何人かの生徒に実演してもらおう。		一斉	15
	6 整理体操、健康状態の確認	○疲労回復のために体操を行い、健康状態も確認を行う。		一斉	3
	7 本時の振り返り <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">○無理して泳がない。 ○服を脱がない。 ○浮いて救助を待つ。 ○発見した場合も助けに行かない。救助を要請する。</div>	○生徒に今日の学習での、ポイントを発表させ、理解を深める。		一斉	5
	8 次時の学習を知る。				2